

議会だより

かみやま



●12月定例会	2頁
●行政報告	3頁
●令和6年度一般会計補正予算	4頁
●12月定例会一般質問	5～9頁

12月定例会は、令和6年12月5日から13日までの9日間の会期で開催した。次の19議案が提出され審議の結果、全議案について認定・可決した。

また1件の請願が提出されたが、不採択となった。

補正予算

- 専決第11号 令和6年度神山町一般会計補正予算（第3号）
- 令和6年度神山町一般会計補正予算（第4号）
- 令和6年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和6年度神山町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和6年度神山町一般会計補正予算（第5号）
- 令和6年度神山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和6年度神山町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 令和6年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和6年度神山町簡易水道事業会計補正予算（第2号）

条例等

- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- 神山町課設置条例の一部改正
- 神山町特別職報酬等審議会条例の一部改正
- 神山町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正
- 神山町地域包括支援センター設置及び管理に関する条例の一部改正
- 石井町と神山町との間における広域斎場の整備及び管理運営に関する事務委託に関する規約
- 令和5年度大埜地瀧津線道路改良工事変更請負契約の締結
- 神山町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
- 町長等の給与に関する条例等の一部改正
- 職員の給与に関する条例等の一部改正

請願

- 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」の提出を求める請願

提出者：徳島市寺島本町西2丁目16 竹内ビル 3F

日本国民救援会徳島県本部 会長 弁護士 林 伸豪

紹介議員：神山町議会議員 佐出 由恵

番号	1	2	3	4	5	6	7	8
氏名	仁志 哲也	森 一博	佐出 由恵	白土 義信	高橋 義英	志甫 守	森本 孝夫	新居 榮二
	×	×	○	×	×	×	—	○

採決の結果

○賛成 2

×反対 5

よって、不採択となる。

一般質問

仁志 哲也 議員、佐出 由恵 議員、白土 義信 議員、森 一博 議員、高橋義英 議員

町長の行政報告

条例の一部改正

課の再編等に関し、防災および地方創生事業推進のため、総務課を「総務危機管理課」と「まちづくり戦略課」の二つに分け、それぞれ事業の拡充を行うこととする。

包括支援センターを高齢者生産活動センターに移転し、社会福祉協議会と福祉サービスの連携強化を進める。

産業観光課内に「鳥獣対策室」を新設し、鳥獣害対策を一層推進する。

これらは令和7年度4月より実施を予定。

台風10号による影響

農地および農業用施設5件、林道1件、公共土木施設20件の災害が発生した。これに対応するため、今回の補正予算に所要額を計上し、対策をすすめていく。

災害対策

1月の能登半島地震や8月の宮崎県冲南海トラフ地震臨時情報などの影響を受け、住民の皆様の南海トラフ

フ地震への意識が一層高まっている。

コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、地域のイベント等が活発になり、本年度は各地区で防災訓練が多く実施された。町としても、避難所等の備品整備や防災訓練への協力をさらに進めていく。

国の動向

11月の月例経済報告等に関する関係閣僚会議では、景気の現状について「景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される。しかし、欧米の高金利の継続や中国の不動産市場の停滞など、海外経済の下振れが日本経済を下押しするリスクがある。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東情勢、金融市場の変動などには十分な注意が必要である」とされている。

地方財政課題

「新経済・財政再生計画」や「経済財政運営と改革の基本方針2024」を踏まえ、地方団体がDX・GXの推進、人への投資、地方への人の流れの強化、能登半島地震の教訓を生かした防災・減災の取組み強化、こども・子育て支援や地域医療の確保などに取組むため、安定的な税財政基盤を確保するとしている。

地方交付税

厳しい地方財政の現状を踏まえ、令和6年度比で1.7%増の総額が確保されるものの、今後、国の税制改正等に伴う所得税等の減収が地方交付税に与える影響を考慮すると、地方財政は引き続き予断を許さない状況。今後の国の動向に注視しながら、事業運営を行っていく。

神山町においても歳入の約4割を占める地方交付税は重要な財源である。地方税が脆弱な団体にとって、今後の税制改正により急激に厳しい状況に直面する可

能性もある。そのため、引き続き歳入確保に取り組み、実施事業を見極めながら財源の効率的な利用についても創意工夫し、努力を続けていく。

令和7年度予算

11月26日の当初予算事務担当者会において、予算編成方針を明確にし、令和7年度当初予算の編成作業に取り組んでいる。

地方創生関連事業や防災対策、鳥獣害対策、子育て支援、高齢者福祉、DXの推進、老朽化した施設の更新などに経費が必要となる。計画的な予算計上を行い、健全な財政運営に努めていく。

補正予算



議案第 78 号 専決第 11 号 令和 6 年度 一般会計補正予算(第 3 号)

歳入歳出それぞれ

703万円増額

予算総額

67億4,329万円

歳入	県委託金	選挙費委託金	衆議院議員総選挙事務委託金	699 万円
----	------	--------	---------------	--------



議案第 79 号 令和 6 年度 一般会計補正予算 (第 4 号)

歳入歳出それぞれ

2億3,828万円増額

予算総額

69億8,157万円

歳入	寄付金	総務費寄附金	ふるさと振興事業に対する指定寄付金	1 億 7,402 万円
歳出	総務費	積立金	まち・ひと・しごと創生推進事業基金積立金	1 億 10 万円
	農林水産業費	林業総務費	有害鳥獣駆除報償費	500 万円
	土木費	河川費	県単急傾斜地崩壊対策工事	1,068 万円
	消防費	備品購入費	災害用備品購入費(避難所用仮設トイレ 24 個)	210 万円
	教育費	小学校費	システム等借上料	84 万円
	災害復旧費	農林水産業施設 災害復旧費	現年発生農地農業用施設単独災害復旧工事	143 万円
		公共土木施設 災害復旧費	現年発生公共土木施設単独災害復旧工事	815 万円

議案第 80 号	令和 6 年度神山町国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	789 万円増額	7 億 8,182 万円
議案第 81 号	令和 6 年度神山町介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	327 万円減額	10 億 5,240 万円

※以下は、人事院勧告による人件費のみの変更のため詳細については省略いたします。

議案第 92 号	令和 6 年度神山町一般会計補正予算 (第 5 号)	1,985 万円増額	70 億 143 万円
議案第 93 号	令和 6 年度神山町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	71 万円増額	7 億 8,254 万円
議案第 94 号	令和 6 年度神山町介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)	150 万円増額	10 億 5,390 万円
議案第 95 号	令和 6 年度神山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	15 万円増額	1 億 3,184 万円
議案第 96 号	令和 6 年度神山町簡易水道事業会計補正予算 (第 2 号)	支出 33 万円増額	2 億 645 万円

一般質問



仁志哲也 議員



仁志議員の録画映像はこちらから

●質問1●

宿泊施設や観光事業など積極的に紹介されているが、来町される方々の目に触れる工夫について

1 「電子雑誌（旅色）」の、現在の進捗状況と、効果

答弁 産業観光課長

進捗状況について、9月25日より「旅色」のホームページ上で掲載が始まっている。内容は、1泊2日で行く、おもしろいこと“てんこもりな徳島県神山町の旅となっており、神山町の自然が堪能できる場所や体験のできる施設、食事処や、立ち寄れる商店、宿泊施設で神山温泉ホテル四季の里などを紹介。旅色に掲載されて2ヶ月間であるが、閲覧数が約1万1千件。神

山町の観光PRができていていると思う。

2 神山町ホームページ視聴率に対する、対策や工夫

答弁 産業観光課長

神山町のホームページに「神山を知る・楽しむ」のページがある。その中に、先ほどの「旅色」に神山町の特集を掲載しているほか、町のイベント情報など新しい情報を随時更新し載せている。神山マップには、見どころ、食事、宿泊の情報を掲載し、アイコンを選択すると、観光地の情報が見えるようになっている。

再問

広報の仕方、観光パンフレットの充実、2次元コードの添付などについて。

答弁 産業観光課長

神山町観光案内パンフレットは、掲載している情報を見直し作り直す計画。その際2次元コードなど活用し、観光地などの情報が掲載されているホームページにリンクできるように検討する。

今年から神山のイベント情報

を年3回にし、情報を多く発信。紹介しているイベントの情報が掲載されているホームページにリンクするQRコードを掲載している。その他、令和5年2月からユーチューブ「かみやまチャンネル」による動画配信を開始。週2本のペースで発信をしている。「かみやまチャンネル」でも様々な情報を発信していく。



神山町観光パンフレット等

●質問2●

フレイル、について具体的な活動内容、活動指針について伺う。

答弁 健康福祉課長

フレイル予防事業は、地域包括支援センターが行っている。今年度は6月に講演会「オーラルフレイルについて」を行った。オーラルフレイルは嚙む、飲み込む、話すための口腔機能の衰えを指し、早期の重要な老化のサインとされる。嚙む力や舌の動きの悪化が食生活や滑舌に支障を及ぼし、社会との関わる減少を招くことから、フレイル進行の前兆が指摘されている。

各サロンには、理学療法士が年2回、言語聴覚士が2年に1回、作業療法士も2年に1回、講義を行っている。

活動指針については、作業療法士や理学療法士と連携し進めている。

一般質問



佐出由恵 議員



佐出議員の録画映像はこちらから

●質問1● 風邪の5類移行について

風邪が令和7年4月から新型コロナウイルス感染症と同じ5類感染症に加わるることになった。

5類感染症は厚生労働省のホームページや学校保健安全法施行規則で、外出を控える期間や出席停止期間が示されている。

今回、5類感染症に指定し風邪の発生状況を把握すること、新たな呼吸器感染症の早期検知及び早期対応を目指すとしているが、3万件のパブリックコメントを無視し、国会審議もされず5類感染症に指定したことに對して、町民の皆様の命や

財産を守る立場にある町長としてのお考えをお聞きます。

答弁 町長

急性呼吸器感染症、急性の上気道炎、下気道炎の割合を把握するため5類感染症病原体を調査対象に位置づけ、WHOが示す基準や各国で実施されている実例を踏まえての法改正である。平時から急性呼吸器感染症の割合を把握することで、新たな呼吸器感染症の早期検知、対応を行うとともに、有事が起きた際の体制整備が目的である。

町としては、国の動向を注視しながら、実施主体の県の情報提供に沿った対策を進める。

再問

5類に指定することによって、風邪のワクチンの開発が可能になり、新型コロナウイルスのように接種被害者が出るのではと危惧されているがどのようにお考えか。

答弁 町長

実施主体の県の情報提供に沿った対策を進めてまいりたい。

再々問

神山町では、町職員や小中学

校の生徒に対しても出席停止措置等は取らないということではないのか。

答弁 総務課長

現段階では実施主体の県から詳細な情報提供がない。

今後、職員については、県の情報提供があればその内容を確認し対応するようにしたい。

答弁 教育長

児童生徒が感染症にかかった場合、出席停止の期間は感染症の種類に応じて文部科学省令で定める基準により決まっているので、学校では法令や国や県からの通知に従い適切に対応していく。

●質問2● ふるさと納税が導入された経緯について

ふるさと納税の95%が指定した学校で使われ、残りの5%は、その他の小中高校へ配分すると決まった経緯はどのようなものだったのか。

答弁 総務課長

個人版の95%、5%は、当時の町長、副町長と協議し、その率を決めた。

再問

配分方法を見直し、町内の小中高校への支援や町内で生まれ育った子供たちへの給付型奨学金等の支援をもっと充実させるべきではないか。

答弁 副町長

教育委員会が設置している奨学金の運用制度で対応し、しばらくはこの運用方法で続けていきたい。

教育委員会が取り扱っている奨学金との差が大きいのではないか。是非とも早急に見直して頂きたい。



一般質問



白土義信 議員



白土議員の録画映像はこちらから

●質問1●

大木老木の枯れ枝落下の
注意喚起について

樹木の枯れ枝等の落下の注意喚起についてだが、今年の東京の方で、イチヨウの枝が折れて下を通行していた男性が下敷きになり、死亡したということが報道されていた。それは枯れ枝ではなかったようだが、このような事故が身近に起こり得る可能性もあると思うし、特に神社その他にある大木、老木の枯れ枝等の落下については、注意する必要があるかと思われる。

下分の宇佐八幡神社にも、天然記念物の大楠と大鳥居のある立派なお宮で境内にも、大木がたくさんある。時々大きな枝も落ちることがあるので、地元の

人が、コンパネに、枝落下注意と大書きするが、自然に消えてしまう。そういうことで、町として、枝落下注意の看板の設置について出来ないかということだが、本来は持ち主管理者が設置するのが筋だと思うが、町指定の天然記念物があるようなところでは、町にも関係してくるのではないかと思うので、考えを聞きたい。

答弁 教育次長

神山町内にはたくさんの大木、老木があるが、神山町内で文化財の指定を受けている大木、老木は、県指定文化財として5件、町指定文化財として5件、合計10件ある。それぞれの木の管理は所有者が行うこととなっているが、標識、説明板については、教育委員会を設置している。枯れ枝落下の注意喚起看板の設置についても、所有者の方と相談し検討していきたいと考えている。

●質問2●

倒木流木による被害防止
の事前の観察対策について

大雨等により洪水が発生し、川に生えている雑木類が倒れたり、横たわっているいろんな物が流れ、橋脚や橋げた、欄干にかかり、水の流れが変わり大きな被害をもたらしている場面を何回ともなく報道などで今年も見たとと思う。

神山町にも鮎喰川に流れ込む支流が何本もあるが、その一つに、下分に左右山谷川という小さい川がある。普段は水もほとんど流れてない川だが、大雨が降ると一気に増水する川である。その一番下流に旧道だが短い左右山橋というのがかかっている。路面から川までの高さが3・8メートルぐらい、橋脚が3本立っていて、間が8・5メートルぐらいの橋だが、上流の方を見ると、中程には大きな木が生えていたり、左側の方にも根元が取られた木もたくさん生えている。こういう木が洪水で倒れ、流れ方によつては橋にかかり、増水し被害を大きくする原因にもなるかと思われるので、平時のときの見回り、観察、伐採等の対策も必要かと思われる。県との関係もあるかと思うが考えを聞きたい。

答弁 建設課長

建設課では道路パトロールを兼ねた職員2名を配置しており、橋脚に流木や流れを障害する物がかかっているのか確認し、かかっている場合は撤去している。

また、町道に架かる橋梁においては、長寿命化計画により橋梁点検を実施し、健全度の把握及び日常的な維持管理を行い、点検結果で健全性が低い橋梁については、道路メンテナンス事業により橋梁修繕工事を実施し安全性や耐久性を高め、通行は基より災害にも備えた対策を行っている。

県が管理する河川や施設の場合、河道内に樹木が有り、増水などで根元が洗掘され倒れた樹木で、橋脚や河川管理施設等にかかり、河道断面を小さくし障害する恐れがある物については、事前に伐採し撤去してもらうよう県へ要望したいと思っている。

一般質問



森 一博 議員



森議員の録画映像はこちらから

●質問1● 職員の人材育成について

① 基本方針を策定しているのか。

答弁 総務課長

基本方針は平成27年8月に制定し平成28年4月に一部改定。人事評価制度と同時に人材育成基本方針を作成。

② 職員像は、どんな内容が求められているのか。

答弁 総務課長

高い志と向上心を持ち、絆と柔軟性で町民の信頼にこたえ、公平公正、誠実に対応し、まちづくりへの地域課題の解決にチャレンジし、町民への目配り、気配り、心配りのできる人材。

③ 求められる能力・姿勢は、どんな機会に指導・育成を図っているか。

答弁 総務課長

新規採用職員は、仕事の進め方や地方自治制度、地方公務員制度、個人情報保護制度、4年目はマネジメント力、8年目は折衝力・交渉力の研修。その他、係長、課長補佐、課長級の研修と、実務ごとに財務・契約事務研修を行い資質向上と育成を図っている。

④ 職場風土、職場環境の考え方は。

答弁 総務課長

それぞれの職場にて、報告・連絡・相談を密に行い、健康に留意し、住民に対して親切に対応する事が大切であると考える。

⑤ 今後、コンプライアンス・モラル的な内容を踏まえて、どう考えるか。

答弁 総務課長

引き続き職員研修で行っている。一般常識は、新規採用職員の研修で行っている。その他職員の研修は、コンプライアンス・モラル的な内容、方針の改定、研修の方法など、どのように取り扱うか、検討したい。

●質問2● 地域福祉計画について

① 地域福祉の考え方は。

答弁 健康福祉課長

地域に住む誰もが、その人らしい生活を送れるよう、住民、ボランティア、NPO法人、事業者、町、社会福祉協議会が協力して作る暮らしやすい地域づくりの中で、自助、互助、共助、公助という考え方が重要。この考え方を踏まえた地域の助け合いによる福祉が、地域福祉である。

② 担い手育成の学習や体験の機会提供や理解を求める情報発信は。

答弁 健康福祉課長

認知症サポーター養成講座については定期的に、行っている。それ以外の機会の提供は、思うように進んでいないのが現状である。意識醸成の為の情報発信は、現在のところ実施できていない状況。

③ 交流・共同の場、早期発見・対応、福祉避難所について。

答弁 健康福祉課長

生活支援コーディネーター1名配置、協議体の場に委員7名を

委嘱し、進めている。早期発見対応は高齢者見守りネットワークからの情報を地域包括支援センターが受けて対応。福祉避難所は、高齢者は、神山すだち園、寿泉園の2ヶ所、乳幼児・妊産婦は、下分保育所の1ヶ所。発災から7日以内で開設を想定。

④ 相談支援体制構築、情報提供・権利擁護体制の充実は。

答弁 健康福祉課長

体制の構築は現在進んでいないが、子供家庭センターの設置が必要となるので、体制の構築の検討をする。情報提供は、動画での情報発信をふやしている。権利擁護体制は高齢者見守りネットワークからの情報を、地域包括支援センターが、受けて対応。

⑤ 今後の地域福祉計画に対する考え方は。

答弁 健康福祉課長

令和8年度中に次期計画の策定準備を行う。現在のところPDC Aサイクルによる見直しまでは至っていないが、計画の取り組み指標の数値については健康福祉課で確認している。事業内容の精査は、進んでいない。次期計画には、精査ができるような体制をとれるように努力する。

一般質問



高橋義英 議員



高橋議員の録画映像はこちらから

●質問1●

8月8日、日向灘を震源とする地震が発生し、気象庁は、同日19時15分に、南海トラフ地震、臨時情報(巨大地震注意)を発表。今回初めて出された、臨時情報を踏まえ質問する。

- ・初めて出された臨時情報への本町の対応は。
- ・臨時情報が発表され町民の反応を、町当局はどう捉えたか。
- ・米騒動に加え、水、食料が店頭からなくなる現象も見られ、町民への対応は。
- ・8月は夏まつりなど、イベントがあったが、何か注意喚起の対応は。

答弁 町長

県等の情報確認をおこない、8日の夜間は職員数名が役場に待機、他課の所属長には連絡が取れるよう待機の周知をおこなった。翌日、町民にはホームページ及び防災無線によ

る注意喚起をおこない、8月15日氣象庁の呼びかけ終了まで、夜間対応として総務課職員が交代で役場に待機し他の職員は、電話連絡が取れるよう対応した。

町民の反応は、地震が徳島県に近づく様子もなく、冷静であったと思われた。しかし、台風などとは違いう予測が難しいため、対応の難しさを感じた。

店頭の水がなくなる現象は、報道等で確認しており、一層、防災対策、災害時の個人の備蓄品の準備について、日頃の備えの大切さを周知したい。

徳島県下でイベント等の中止の動きもなかったため、各地域のイベントに対して、特に注意喚起はしていない。

再問

巨大地震警戒が発表された場合、本町の危機管理の対応は。

答弁 町長

職員が役場にいる場合、いない場合で初動の対応時間が変わってくるが、神山町地域防災計画にある第2非常体制をとり、総務課、建設課の係長以上、その他の課の課長、課長補佐が役場に参集し、町民の情報の周知をおこない、日頃の備えの再確認、要配慮者への事前避難の準備、消防署等の関係機関との連携などを行い、必要に応じ災害対策本部を設置し対応をする。

【町内行政視察について】

[12月9日]

12月9日、町内行政視察を行った。視察場所は、一、町道大埜地瀧津線改良工事現場 二、第2期高専用地造成工事現場 三、神山温泉屋根改修工事現場の、三か所の現況視察。

一、の町道改良工事は、令和5年度より引き続き発注されている工事であり、順調に推移し、残りは一部擁壁と舗装を残すのみであるが、二、の造成工事に伴う工事車両の通行に配慮し落ち着き次第施工するとのこと。

二、の工事についても順調に推移しており、当日は擁壁工事としてコンクリートを打設する工程であった。いずれも規模の大きな工事であり、順調かつ、安全に推移することを願いたい。

三、の屋根改修工事については工程の約20%まで推移しているが、今後屋根部材の設置工程に入ると工事の進捗は加速する。

神山温泉は、神山を代表する観光施設であるため、こちらも順調かつ安全に完了することを願いたい。

(仁志 哲也)



第2期高専用地造成工事現場

神山の風景

12月7日に、J A アグリスタジアムにて一般社団法人徳島県軟式野球連盟と徳島県中学校体育連盟が県内の軟式野球部に所属している選手（3年生）の中から優秀選手として35人選び、神山中学校から、大元唯愛選手、森本天流選手の2名が選ばれました。大元さんは部活のほか県内の女子クラブチームにも所属して3年連続全国大会にも出場されています。森本さんは、総体終了後に徳島県の選抜チームの16人に選ばれ四国大会に出場され、2人は高校でも野球を続けていくと話されていました。

（高橋 義英）



議会の動き

■ 2月

19日 議会運営委員会

27日 勝名地区町村議会議長会定期総会

期総会

27日 徳島県町村議会議長会第80回定期総会

期定期総会

■ 3月

上旬 3月定例会

7日 神山中学校卒業式

14日 町内小学校卒業式

表紙写真説明

12月19日 NPO まちの食農教育とorononoの松本さんの協力のもと神領小学校1年生が10月初旬に種をまき、育ったかぶを収穫した写真です。

1年生は国語の時間に「おおきなかぶ」のお話を学習していたので、一般的な大きさのかぶと大きなかぶを植えてみました。収穫したかぶは、「みんなで分けて持ち帰りたい。家族と一緒に食べたい。」という子供たちの願いがあつたので、今回持ち帰りました。

（高橋 義英）

つぶやき



小雪舞うとある一日、友人とこたつを囲み昔話に心がはずむ。年を重ねての突然の病気や入院は、体の自由を奪ってしまう。病床にある時は良い事も悪い事も何倍にも増幅してしまう。

人生で起こる困難は、日常の自由を奪ってしまう。今後はどう生かしていくかが難しいと思ってしまう。いつも笑顔で心のこもった対応をしてくださった主治医の先生や看護師の人達にはありがとうの気持ちで一杯です。感謝がありません。

昨年を振り返り、皆さんにとってはどの様な一年でしたか。新たな年を迎え、多くの人に支えられ幸せな時間を過ごしたいですネ。どんな条件にあっても命ある幸せを感じ、一日一日を大切に過ごしたいと思います。（志甫 守）